

DXG DX

SERIES

データセーフ

高温環境での磁気メディアの厳しい保管条件をクリア。独自開発の二重構造で温度上昇をしつかりガード

-  フレキシブルコンピュータディスク用
1時間耐火性能
-  耐破壊性能15分(TS-15) <対象: DXG-200>
- 非JIS認証製品

塗装色 [B17]

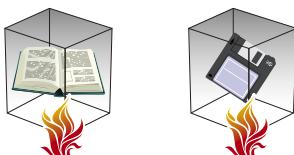


今やパソコンは、会社での業務用から私生活でのコミュニケーションツールとして、身近なものとなりました。さらにテレビやカメラなど画像・映像のデジタル化により、記憶メディアも大容量なデータ保存へと移り変わっています。コンパクトな記憶メディアに収められた「思い出の映像」から「企業財産」まで大量な情報を火災や盗難から守る時代のニーズに対応したのがデータセーフです。

■耐火性能

フレキシブルコンピュータディスク用 1時間耐火性能

火災発生から1時間、磁気メディアの敏感な保管条件に合わせ、庫内温度 **52°C**以下、湿度 **80%**以下に抑えるJIS項目内の「標準加熱試験」に合格しています。



■一般的な耐火金庫
(一般紙用耐火性能)
庫内温度: **177°C**以下
庫内湿度: **規定なし**

■データセーフ
(フレキシブルコンピュータ
ディスク用耐火性能)
庫内温度: **52°C**以下
庫内湿度: **80%以下**



火災の際、磁気メディアは60°C前後でデータが破壊されてしまいます。一般的な耐火金庫では、庫内温度を177°C以下に抑える基準になっていますので、大切なデータを消失するおそれがあります。



■防盗性能

耐破壊性能 15分(TS-15)

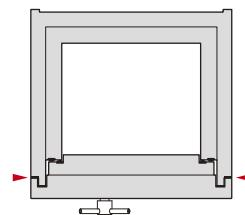
金庫破りの手口で最も多い、バールや金切りノコなどの簡易工具による「扉のこじ開け」破壊に対して、15分耐える構造を備えています。

<対象: DXG-200>

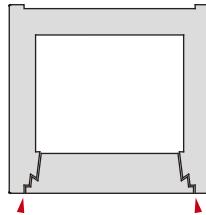


特殊「扉」構造

扉のすき間からの熱の侵入軽減や、扉こじ開け破壊の際にカンヌキへの直接的な攻撃を阻止する「オーバーハング構造」を採用。当社同グレード製品と比較して耐火・防盗性能をアップしています。



オーバーハング構造



通常扉構造

特殊「耐火壁」構造

一定温度に達すると耐火材の一部物質が液化することにより、上昇温度を吸収する「特殊耐火材」を自社開発。特殊耐火材と特殊耐火ボードとの複層壁構造により断熱効果を発揮します。

